

# 市の平和宣言 核兵器廃絶を明記したものへ



No.165  
2009年7月号

発行  
日本共産党  
小矢部市委員会  
小矢部市七社245  
砂田喜昭  
TEL 67-4322  
FAX 67-4842

6月議会  
報告

砂田市議

## 北朝鮮の核実験に抗議

砂田 オバマ大統領が「核兵器のない世界の実現を」との演説を歓迎する。

大統領が言及した。この発言があるからこそ世界に向けて核の廃絶を呼びかける説得力があった。

## 平和都市宣言の見直しを

砂田 核兵器廃絶を明記した非核平和都市宣言の宣言と日本非核自治体協議会への参加を。

砂田 核兵器廃絶を明記した非核平和都市宣言の宣言と日本非核自治体協議会への参加を。

## 見直しを検討

桜井市長 オバマ大統領の演説は、歴史に残る名演説だ。初めてヒロシマ・ナガサキへの原爆投下の道義的責任についてアメリカ

等も十分調査し、見直し等についても検討を始めた。なお日本非核自治体協議会の参加については、その活動の詳細を十分に把握して判断したい。

## 平和大行進 小矢部から石川県へ



小矢部市役所から石川県へ向けて出発する平和行進 6月13日

## 市の「平和都市宣言、見直し検討中」発言に拍手

原水爆禁止国民平和行進(富山広島コース)が12日(金)午後、福岡町より小矢部市入りし、市長・議長(代理)の歓迎を受けました。市は歓迎の言葉で「核兵器廃絶を明記した平和都市宣言」となるよう見直しを検討している」と述べ、参加者から歓声とともに力強い拍手がわきました。市職員から50数筆の署名と募金も寄せられました。

## 国民健康保険

### 減免制度の拡充を

砂田市議 派遣切りやリス

トワで職を失った方が、国保に加入すると、前年所得で国保税が課税されるため、収入が激減しているにもかかわらず、高い保険税がかけられる。これは派遣労働を原則自由化した政治災害だ。前年所得に比べて4分の1以下にならないと減免しないという現在の制度を改善する必要がある。

「現在の基準が実態に即していない。見直し

## を検討中」

民生部長 経済情勢の悪化に伴う派遣切りなどにより生活困窮者が急増している現状では、現在の条例及び減免要綱の基準が実態に即していない面も考えられる。減免に關して細部にわたる規程の見直しを検討しており、他市町村や後期高齢者医療制度の減免規程の詳細な調査をしてい

## 「減免に該当する範囲を調査中」

民生部長 運用については慎重な対応が必要。災害等緊急時の対応の一つとして、県内市町村の状況も踏まえながら、一部負担金減免等に該当する具体的な範囲について調査を進めている。

## 雇用確保へ最大限の経営努力を

共産党 富山労働局へ申し入れ

## 三協・立山で大リスラ

三協・立山ホールディングス(株)は、業績悪化に伴い、グループ全体で1000人の人員削減と給与カットの実施を決定し、県民に大きな衝撃を与えました。労働者の生活への深刻な影響があることはもちろん、下請け企業やその従業員、地域経済に計り知れない打撃を与えることはあきらかです。

取り上げた具体的な不安の声を紹介しました。「子どもも小さいし、ローンを抱えている。クビになったらやっけない。不安だ。」

「まだ子どもが小さく、ローンを抱えている」労働者の不安の声

高橋委員長は、労働者から聞き



「この人、テレビで見た」とある「へー」「赤旗」に載っているのですか。元内閣官房長官の野中広務氏へのインタビュー記事が日刊しんぶん赤旗の一面に掲載され、驚きの声があがっています。野中さんはインタビューの冒頭「50年間の政治生活で『宿敵』(赤旗)のところに私の思いを語るのは、今の日本がおかしくなってきたこと発言。特措法を積み重ねて自衛隊を海外に出かけていけるようにしてしまつたことに不安を述べ、自衛隊は戦争が好きで、学校で明治以降の日本の歴史をしっかりと教えてもらつたことが田母神元航空幕僚長のような暴言を生んだ、再び過ちを繰り返してはならないと語っています。この記事を見た市民の声をいくつか、拾ってみました。▼「戦争をやつてはダメですよ」▼「日本はアメリカの属国だよ」▼「野中さんが国会を大政翼賛会にしてはいけないと言っていたが、その通り」▼「民主党の鳩山さんも小沢さんも、元々民主党から別れた人だから、ひとつも変わらないよ」▼「民主党は衆議院比例代表定数を80議席削減すると言っているが、国会を自民党と民主党だけにして、消費税増税も憲法改悪も簡単にできるよ」▼「庭先で共産党を語るついでに、あちこちで開いている。自民に不満、民主に不安が噴き出し、日本の進路が語られていく」▼アメリカでもオバマ大統領が選出され、変化の兆し。草の根での活動が希望ある日本をつくる礎(いしづ)だ。